

## 年次報告書 2015

# 子どもたちの明日



## 年次報告書によせて

長年務められた代表理事を引退なさった深水神父の後任としての役割をシスター廣戸直江が引受けることになりました。

三十五年前に聖心女子大学キャンパスの一隅に、難民を応援する団体にふさわしい掘っ立て小屋で始まった「幼い難民を考える会」の発起人の一人として理事を仰せつかった私でした。十年後に事務所移転を機に、交野氏に理事をバトン・タッチして以来、二十年のブランクを経ていました。

この度、再び直接かかわるようになって、現在のCYR活動を目の当りにし、会の発展の目覚しさに、驚嘆の念と頭のさがる思いで一杯になりました。

理事の方々、国内外のスタッフ、ボランティア、サポーターの皆様の、蔭になりあるいは日向となつての並々ならない努力と支援の大きさと力強さはおしはかれないものがあるでしょう。

昨年(2014年)の年次報告書の冒頭に記載された「設立趣意書」を読んで、三十五年前に心に焼きついた、タイ国境のカオイダン難民キャンプで目の当たりにしたカンボジアの人々、特に子どもたちの惨状がよみがえって来ました。

あの時、「何かしなければ」という固い決意が「希望の家」に始まって、次々カンボジアばかりでなく、タイの貧村にも保育所、幼稚園の設立となって実現していつているのです。

この実績は色々な形で協力者の貢献の賜物だと改めて痛感しています。更に会が大きな目標としていた、活動の運営を現地人に引き継ぐ夢も徐々に現実となりつつあるようです。

二年という「橋渡し」の期間は短いかもしれないけれど、現地体制を固め、確立する大切な役割と責任を皆様と一緒に果たしていけるよう御協力をお願いします。

廣戸直江



## <目次>

年次報告書に寄せて・目次	1
活動概要	2
2014年度事業報告と2015年度事業計画	
Ⅰ カンボジア保育事業	3
Ⅱ カンボジア織物事業	5
Ⅲ 日本国内事業	7
2014年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会	
2014年度決算・監査報告書・2015年度予算	8
活動収支年度別推移表	11
幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体	
2014年度 補助金受け入れ先、寄付者	12
2014年度 みんなで布チョッキン実施団体、織物製品主要販売先	13
わたしたちの組織	
会員数、寄付者数、役員、職員、活動履歴	14



© 高橋智史



© 高橋智史



■ 2014年度に教材・絵本8種・遊具(「みんなで布チョッキン」で製作した布ボール・人形)を配布し、保育者研修を実施した州

○ 織物・染物研修、織物製品の展示・販売などを実施した州

- ①カンダール州 カンダールスタン郡  
(バンキアン・プレイタウ保育所)
- ②タケオ州 バティ郡  
(カンダール村・トロビエンクロライン村・ブンブノム村の幼稚園)
- ③カンダール州 ルークダエク郡  
(カオム・ソムノール村・カオム・サムノールクrom村・リアンチュー村の幼稚園)
- ④カンダール州 アンヌヌール郡  
(チュティール村の幼稚園)
- ⑤タケオ州トロビエンクラサン織物研修センター
- ⑥コンボンチャム州 アンコールバーン村  
(藍染め研修実施地)

## 2014年度報告概要

カンボジア保育事業では、4ヶ所の村の幼稚園を新設した。さらに教育省に協力して、公立地域幼稚園284箇所に保育教材を提供した。カンボジア織物事業では、伝統絹絵びピダンの括り染め織技術研修を継続し、藍染め研修については2014年絹糸の藍染技術が堅牢度テストを経て完成した。

日本国内では、東日本大震災の被災地の子どもたちに飲料水の提供、文集づくりへの協力、室内遊具の支援を行った。広報事業として報告会の開催、年次報告書の発行、ニュースレターの年四回発行のほかカレンダー・絵葉書の製作・販売を行った。「みんなで布チョッキン」活動に多くのボランティアの協力を得た。

国内織物事業では、ピダン展の開催、織物製品カタログの製作、新規委託販売先の開拓を行った。東京事務所を7月に移転し、ショップ「ラタナ」を閉店した。12月に認定特定非営利活動法人の再認定を受けた。

## 2015年度計画概要

2015年度のカンボジア保育事業では1ヶ所の村の幼稚園を開く。また、バンキアン、プレイタウ保育所の自主運営体制作りをする。政府協力事業では、開設予定の公立地域幼稚園に教材研修と配布を行う。

カンボジア織物事業では過去の成果と課題に基づき、泥藍作りと藍染め研修に力を入れる。帯の製作と新製品(藍染とオーガニックコットンのスカーフ)の製作を行う。ピダン展示会の開催、伝統絹絵びの紹介、国内外での販売促進に努め、織物製作における品質管理にも力を注ぐ。

日本国内では、東日本大震災の被災地の子どもたちに飲料水の提供を行う。広報事業として報告会の開催、年次報告書の発行、ニュースレターの年三回発行のほかカレンダーの製作・販売を行う。「村の幼稚園」開設事業についてのパンフレットを作成する。「みんなで布チョッキン」に更に参加を呼びかける。

国内織物事業では、ピダン展の開催、新規委託販売先の開拓を行なう。

## I カンボジア保育事業

### 1. CYR独自事業

#### バンキアン保育所・プレイタトウ保育所

- ・2箇所の保育所では、保護者の協力金から保育者の手当て、給食費の一部に充当した。
- ・2015年度は自主運営に向け、子どもの人数に合わせて保育者の数を減らす。
- ・米、野菜作り、養魚の活動を実施した。2015年度も実施し保育所の給食に充当する。
- ・村人等に小規模貸付を実施し、利息を保育者等の給与に充当した。2015年度も実施する。
- ・保育者自身で、卒園式など行事を計画し実施した。2015年度も予算内で実施する。
- ・定期的に歯磨き指導し、歯科検診を実施した。2015年度も継続する。
- ・卒園児2名に奨学金を支援し2015年度も継続、9月から有給の実習生として受け入れる。

所在地	保育所名	開設年	園児	保育者	給食	備考(2014年度)
カンダール州	プレイタトウ保育所	1991年	30	3+1 (給食係)	朝・昼給食、 おやつ、豆乳	教室を1部屋増設
	バンキアン保育所	1994年	27	3		塀の修理



#### 村の幼稚園

- ・2014年度9箇所の村幼稚園に保育者の給与、補助給食などを支援した。プラサート、タブロム村の幼稚園は、2016年3月で地域の運営委員会に管理運営を移行予定。
- ・9箇所の村幼稚園には、2015年度も継続支援する。
- ・2014年度毎月定期的にモニタリングを実施し、2015年度も継続する。
- ・2014年度カンダール州で要請のあった4箇所を開設した。2015年度カンダール州で新しい村の幼稚園の開設準備を進める。
- ・郡の教育局幼稚園担当者、保護者、地域の人たちの協力が得られるよう働きかけた。
- ・2015年度も継続し自主運営に向けた取り組みに力を入れる。

所在地	村の幼稚園名	開設年	園児	保育者	給食	備考(2014年度)
カンダール州	プラサート	2012年	60	2	おやつ 豆乳	
	タブロム	2012年	26	1		保育者の退職と募集
	リアンチュウ	2014年	30	1		小学校の中に開設 手洗いセット設置
	カオム・ソムノルー	2014年	46	1		同上
	カオム・ソムノクロム	2014年	29	1		同上
	チュティール	2014年	21	1		トイレ・手洗いセット設置
タケオ州	カンダール	2013年	35	1	手洗いセット設置	
	トロビエンクロライン	2013年	23	1	トイレ・手洗いセット設置	
	ブンブン	2013年	21	1	トイレ・手洗いセット設置	



## 2. 現地NGO支援事業

### カンボジアNGO「ケマラ」

2014年度は現地NGO「ケマラ」運営の6保育所、2014年に新たに開設した3保育所の計9保育所に月2回の豆乳配布を継続して支援。

2015年度も豆乳配布を継続支援する。

所在地	保育所名	開設年	園児数	保育者数	給食
ブノンベン (スラム)	マピアップ	2003年	51	2	豆乳配布(月2回) モニタリング
	スピエンクボ	2003年	40	2	
	コー第1	2007年	39	2	
	第2村	2007年	38	2	
	スパイバ	2008年	57	2	
	ローコンバオ	2008年	36	2	
	バン チューク	2014年	32	2	
	プサー レッチ	2014年	51	2	
	ポーモンコル	2014年	49	2	



## 3. 教育省との共同事業

### 僻地公立幼稚園

- ・2014年度は公立幼稚園8園11クラスのモニタリング評価を実施した。
- ・二次研修を実施し、2郡の公立幼稚園の保育者32名が参加した。教育省専門講師がモニタリングの評価も基にして、再度保育教材の目的、使い方の研修を実施した。



### 公立地域幼稚園

カンボジア政府が2014年から3年間で1000箇所の公立地域幼稚園を開園する計画である。本会は以下の支援を行った。

- ・2014年11月教育省幼児教育局が主催するコアトレイナーの研修において、本会が支援する保育教材の目的、使い方、壊れたときの補修の仕方などを研修した。
- ・教育省の第1回目の保育者研修の実施時に、18州284名の保育者に人形、布ボール、絵本などの保育教材を配布した。
- ・2015度開園の300箇所の公立地域幼稚園に教材の研修配布を行う。

実施した州	参加保育者	配布教材	研修の種類(2014年度)
18州83郡 (ブノンベンを除く)	284	絵本8種、保育教材、布ボール・人形	公立地域幼稚園保育者初任者研修(教材一次研修)
ウドーミンチエイ州 2郡	32	なし	公立幼稚園保育者(2013年度に教材配布)モニタリング・教材二次研修



## 4. その他の事業

### トロピエンバイ小学校と5歳児クラス

- ・2014年度は朝の給食(継続支援)、豆乳、卵の補助給食を提供した。2015年度は朝の給食は7月まで継続支援し、豆乳と軽食配布は1年間継続支援する。
- ・2014年度はモンゴル、ウランバートル市の国立幼稚園有志の方の支援などにより2階建て高床式の校舎の下に2クラスを増設した。

所在地	小学校名	開設年	児童数	給食支援	備考(2014年度)
ブンベン(スラム)	トロピエンバイ	2005年	718	朝給食、豆乳・ゆで卵	教室2部屋を増設



## II カンボジア織物事業

### 1. 織物技術研修事業

#### トロピエンクラサン織物研修センター

2014年絹絵緋ビダンの研修を実施した。織物技術を持った4名が参加し3ヶ月で、4mの緋地を完成させた。2015年も3ヶ月間実施する。4名が参加予定。

- ① 2014年帯の織り手を対象に、1ヶ月間の緋織コースを開催。絵緋の括り技術を指導した。
- ② 2014年帯の製作は、新しい色合わせ、伝統的なビダン模様製作技術を高め、2015年も継続する。
- ③ 2014年藍建て、藍染め技術研修を続けた。2015年度も実施する。

#### 地域で織物をしている女性のための巡回研修

タケオ州プレイカバス郡クダン地区での調査の結果、若い女性がタイや縫製工場へ働きに出る村が多く、希望者が少なかったため、中止した。



## 藍染め技術研修

2014年度はコンボンチャム州コーンミア郡アンコールバーン村で、7名の地域の人たちを対象にCYRスタッフも参加して7月に、泥藍作り、藍染め技術研修を継続実施した。

絹糸の藍染めはほとんどが色あせせず、深い藍色を出すことができ、堅牢度試験の結果も大変良好であった。伝統的な藍染め技術を伝承して収入を得ていくためには、①泥藍作り、藍染め技術の定着と向上、グループのチームワーク、②藍染め染液の維持管理の方法の研究、③藍染めグループのスカーフ織りの技術研修、④販売促進と販路の拡大が課題として残されている。

2015年度も同村の人たち7名を対象に7月に泥藍研修、藍染め研修を約1ヶ月行う。

研修内容(2014年度)	研修生	研修担当者	CYR職員
伝統絹絵紺ピダン研修 (タケオ州織物研修センター)	4	3	7
帯括りピダン模様研修 (タケオ州織物研修センター)	5	3	
藍染め研修 (コンボンチャム州アンコールバーン村・タケオ州織物研修センター)	10	4	
タケオ州織物研修センター図書室	利用者：延 2435名		



## 2. カンボジアでの販売促進、事業費の確保

農村の織物に携わる人たちが、継続した安定収入を得るためには、織物製品販売促進が不可欠であり、2014年度は以下の取り組みを行なった。

- ・カンボジア職工協会Artisans' Association of Cambodiaのメンバーになり、デザイン研修、展示販売などの機会を広げることができた。
- ・藍染め技術の研修成果が上がり、製作品のデザイン、色に広がりが出た。
- ・インターコンチネンタルホテルで、ピダン展示会を開催。委託販売店舗を広げた。

2015年度は以下の取り組みを行なう。

- ・新しいデザインの洋服、藍染とオーガニックコットンのスカーフなど品揃えを充実させる。
- ・高級ホテル、国立博物館などでピダン展示できるように交渉し、ピダン展示会を開催する。
- ・委託販売店舗を増やし、販売収入を増やす。
- ・国内と国外で行うイベントに参加し、販売収入を増やす。



## Ⅲ 日本国内事業

### 1. 東日本大震災被災地支援事業

2014年度は福島県伊達郡「やまゆり保育所」へ飲料水支援、福島県浪江町元園児、保育者の文集制作支援、宮城県多賀城市「おおぞら保育園」へ室内遊具や手作り遊具を提供した。2015年度は「やまゆり保育所」への飲料水の支援を継続し、その他の支援先については情報を得ながら、支援を継続する。



### 2. 広報事業

#### みんなで布チョッキン

2014年度はパンフレットを一新し、ホームページなどを通じて、参加を呼びかけ、32団体より約2,200名、個人約58名が参加し、人形1185体・ボール2754個分の布をカンボジアに送った。また企業から、未使用の布の寄附をうけた。2015年度は、ホームページ等を通じてさらに多くの参加を呼びかける。



#### 活動報告会

2014年5月に活動報告会を実施した。2015年度はカンボジア事務所長のチャン・スレイが「カンボジアの現場から～子どもたちの明日に向かって～」の題で、前カンボジア事務所長の関口晴美が「わたしとカンボジア～35年を振り返って～」と題して報告した。

#### ニュースレター、年次報告書

2014年度は年次報告書とニュースレター「子どもたちの明日」(年4回)を発行した。2015年度はニュースレターを年3回発行するとともに、「年次報告書2015」を7月に発行する。

#### ホームページ、フェイスブック等

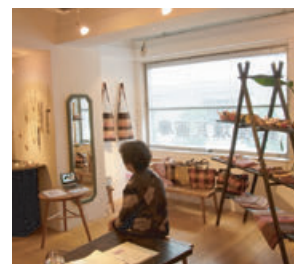
2014年度は頻繁な更新を心がけ、情報発信の機会を増やした。2015年度はさらに、カンボジアでの事業状況、日常文化、国内外のイベントに関する最新情報等をタイムリーに発信する。「年次報告書2015」を7月に発行する。

#### カレンダーおよび絵葉書の製作・販売

2014年度は2015年度カレンダー・絵葉書を「伝統絹絵緋ピダン」をテーマに、製作・販売を行った。2015年度は2016年カレンダーを、子どもをテーマとし製作・販売する。

### 3. 織物販売事業

2014年度は銀座煉瓦画廊と恵比寿三越においてピダン展を開催、織物製品カタログの製作、委託販売先の開拓を行った。また事務所の移転に伴いショップ「ラタナ」を閉店した。2015年度は引き続きピダン展開催、藍染め製品中心に、ピダンや絹緋生地の販売に重点を置く。



### 4. その他

2014年ボランティアのべ約300名参加(作業時間計1237時間)。2015年度はボランティアデーを毎週水曜日、第1・第3土曜日に実施し、学生から社会人まで広くボランティアを募る。

2014年7月CYR東京事務所を移転。12月認定特定非営利活動法人の再認定を受けた。



# 2014年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会

## 活動計算書(要約)

(自2014年4月1日 至2015年3月31日)

(単位:千円)

科目	2013年度決算	2014年度決算	増減	2015年度予算
<b>I 経常収益</b>				
1 会費収入	2,171	1,949	△ 222	2,000
2 寄付収入	28,479	24,180	△ 4,299	20,800
3 事業収入	12,079	10,919	△ 1,160	18,400
4 補助金収入	8,103	5,589	△ 2,514	4,200
5 その他収益	517	1,196	679	600
経常収益計	51,349	43,833	△ 7,516	46,000
<b>II 経常費用</b>				
1 事業費				
(1) 人件費	21,452	18,961	△ 2,491	17,420
(2) その他経費	21,213	20,518	△ 695	17,980
事業費計	42,665	39,479	△ 3,186	35,400
2 管理費				
(1) 人件費	7,985	6,896	△ 1,089	5,410
(2) その他経費	6,008	7,401	1,393	4,880
管理費計	13,993	14,297	304	10,290
経常費用計	56,658	53,777	△ 2,881	45,690
当期経常増減額	△ 5,309	△ 9,943	△ 4,634	310
<b>III 経常外収益</b>				
1 その他収益	3,883	2,990	△ 893	0
経常外収益計	3,883	2,990	△ 893	0
<b>IV 経常外費用</b>				
1 その他費用	0	1,865	1,865	0
経常外費用計	0	1,865	1,865	0
当期正味財産増減額	△ 1,426	△ 8,818	△ 7,392	310

## 貸借対照表(要約)

2015年3月31日現在

(単位:千円)

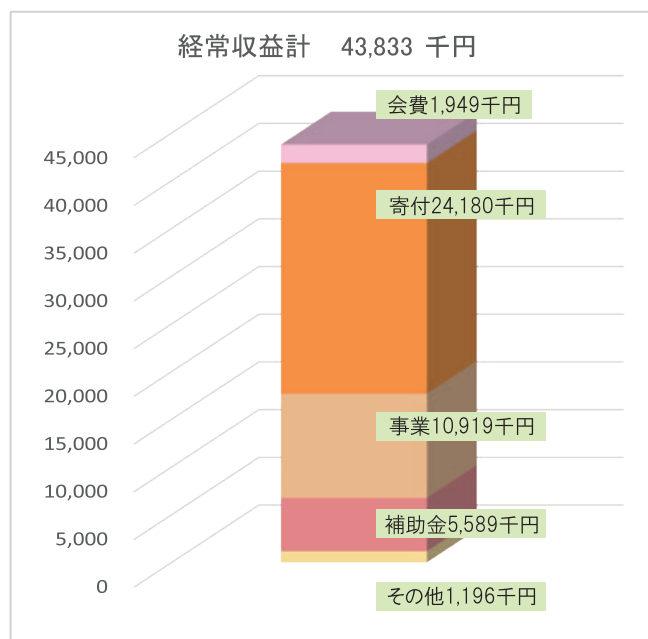
科目	金額
<b>I 資産の部</b>	
流動資産	41,056
固定資産	1,183
資産合計	42,239
<b>II 負債の部</b>	
流動負債	457
固定負債	5,717
負債合計	6,174
<b>III 正味財産の部</b>	
前期繰越正味財産	44,883
当期正味財産増減額	△ 8,818
	36,065
負債及び正味財産合計	42,239

監査報告書	
2015年3月31日	
特定非営利活動法人幼い難民を考える会 代表理事 藤戸 真江 様	
監査 鈴木 雅博 監査 草野 榮穂	
<p>私たちは、特定非営利活動促進法18条の規定に基づき、特定非営利活動法人幼い難民を考える会の2014年度(平成26年度:2014年4月1日~2015年3月31日)の業務概況及び会計監査を実施しました。</p> <p>業務概況(理事の業務執行の状況に関する監査)に当たっては、理事その他の役員に出席し、必要と認める場合には質問をこない、意見を表明した。会計監査(財産の状況に関する監査)に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問を行った。</p> <p>これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適切に執行され、会計処理は、NPO法人会計基準及び一般に公认せられる会計の方法によって適正に処理されているものと認められた。</p> <p>ここに、私たちは、上記期間に係る業務報告書、当法人の業務執行の状況を示し、計算書類が2015年(平成27年)3月31日における財務の状況を適正に表示しているものと認める。</p>	
以上	

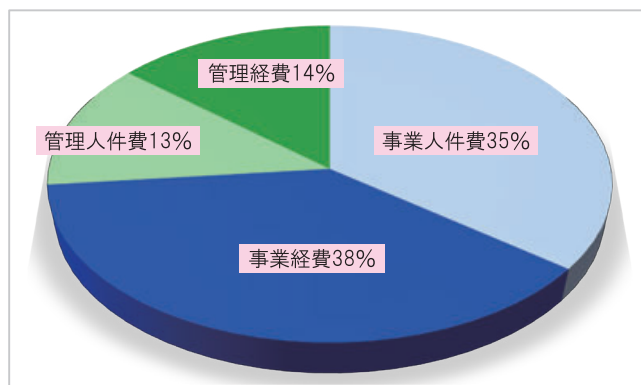
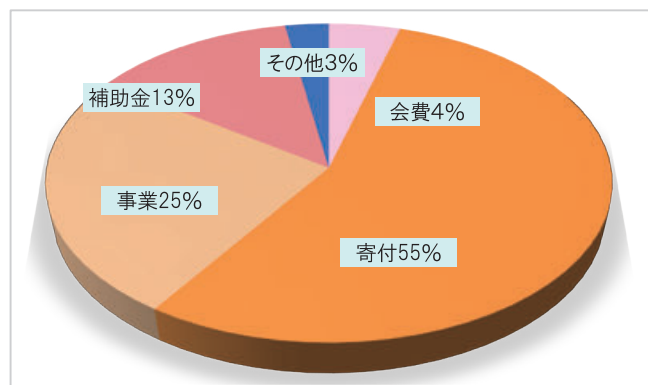
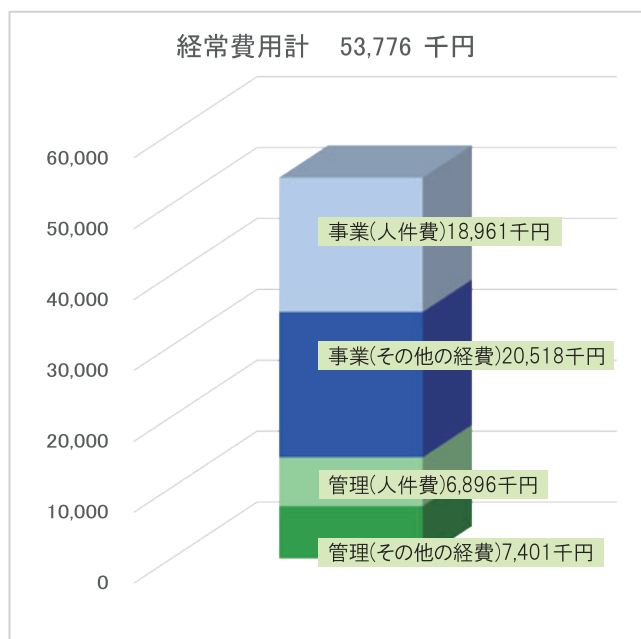
- 2014年度寄付金収入は、企業の大口寄付収入及び補助金収入の減少が大きかった。年度末近くに遺産による大口の寄付が約300万円あったが寄付金収入は、前年度よりも約4.3百万円少ない結果となった。2015年度の寄付収入予算は2014年度の実績額から遺産による寄付収入を除いた額を予算として計上しているため2014年実績に比して大幅に減少した。
- 2014年度事業収入については、帯の販売が減少した。その結果事業収入全体でも減少した。2015年度予算はオーガニックコットンや藍染製品の新規販売と、頻繁な展示会の開催などにより在庫品の積極的販売促進による売上増加を見込んでいる。
- 補助金収入は2014年度実績はほぼ予算どおりであったが前年度と比較して減少した。2015年度予算は助成が確実に見込まれるもののみを計上しているが、2014年度実績に比べ減少予算となっている。
- 2014年度収入全体では寄附金及び補助金の収入の減少が大きく影響し、経常収益は前期比7.5百万円の減少であった。2015年度収入予算は寄付収入の減少、事業収入の増加が見込まれ収入全体では約2百万強収入増の予算である。
- 織物材料及びピダンは前期に在庫未計上であったが2014年度末より棚卸資産として計上した。これにともなう過年度の費用修正額は、2014年度活動計算書の経常外収益にその他収益として計上した。また2013年度まで未計上であったカンボジア現地職員の退職給付引当金を計上し過年度負担額を経常外費用に計上した。
- 2014年度の経常費用は、2013年度中に退職者があったこと、2014年3月末での前事務局長の退職、国内給与ベースの引下げ等により人件費は大幅に減少した。2015年度は、現地織物職員の削減、東京事務所パート職員の勤務時間の短縮などによる人件費の削減、東京事務所移転を終えたことによる事務所家賃・事務所移転費用の減少などで合計約8百万円の減少を見込んでいる。

# 2014年度 数字とグラフで見る 若い難民を考える会

【2014年度 収入の内訳】



【2014年度 費用の内訳】



## 2014年度事業部門別 活動計算書

(自2014年4月1日 至2015年3月31日)

(単位: 千円)

科目	合計	カンボジア事業			国内事業			管理
		保育	織物研修	織物販売	広報	織物販売	震災	
<b>I 経常収益</b>								
会費収入	1,949	0	0	0	0	0	0	
寄付収入	24,180	10,186	365	0	0	0	2,243	11,386
事業収入	10,919	0	0	6,481	367	4,071	0	0
補助金収入	5,589	4,434	1,155	0	0	0	0	0
その他収入	1,196	65	84	0	0	0	0	1,047
<b>経常収益計</b>	<b>43,833</b>	<b>14,685</b>	<b>1,604</b>	<b>6,481</b>	<b>367</b>	<b>4,071</b>	<b>2,243</b>	<b>14,382</b>
<b>II 経常費用</b>								
人件費計	25,857	5,389	3,406	3,464	3,514	2,572	616	6,896
その他の経費計	27,919	8,563	2,372	4,776	965	2,856	986	7,401
<b>経常費用計</b>	<b>53,776</b>	<b>13,952</b>	<b>5,778</b>	<b>8,240</b>	<b>4,479</b>	<b>5,428</b>	<b>1,602</b>	<b>14,297</b>
当期経常増減額	△ 9,943	733	△ 4,174	△ 1,759	△ 4,112	△ 1,357	641	85
<b>III 経常外損益</b>								
その他	1,124	0	0	0	0	0	0	1,124
<b>経常外損益計</b>	<b>1,124</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,124</b>
当期正味財産増減額	△ 8,819	733	△ 4,174	△ 1,759	△ 4,112	△ 1,357	641	1,209
前期繰越正味財産額	44,884	0	0	0	0	0	0	44,884
次期繰越正味財産額	36,065	733	△ 4,174	△ 1,759	△ 4,112	△ 1,357	641	46,093

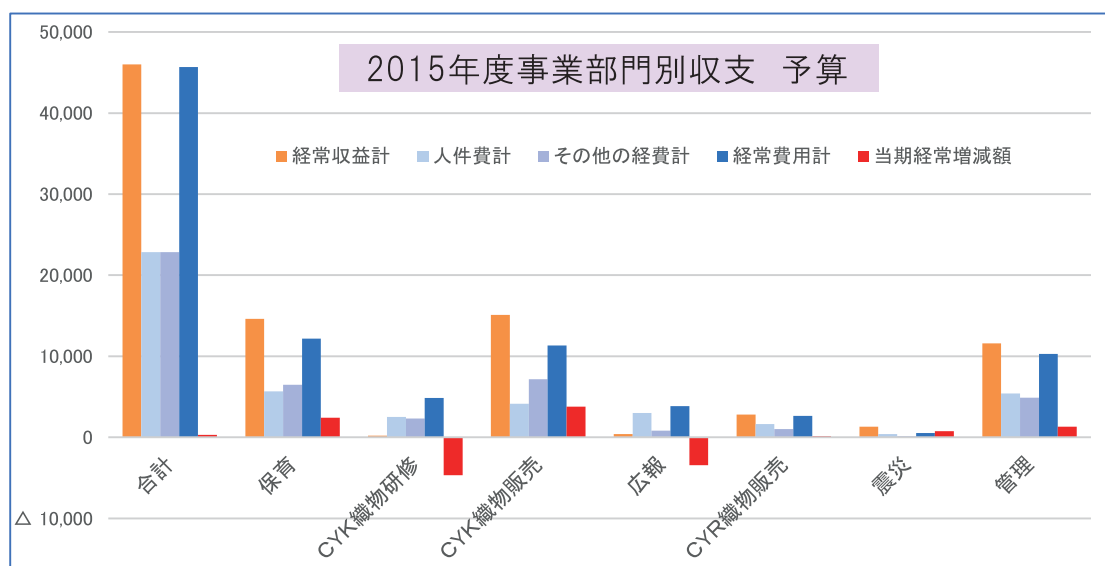
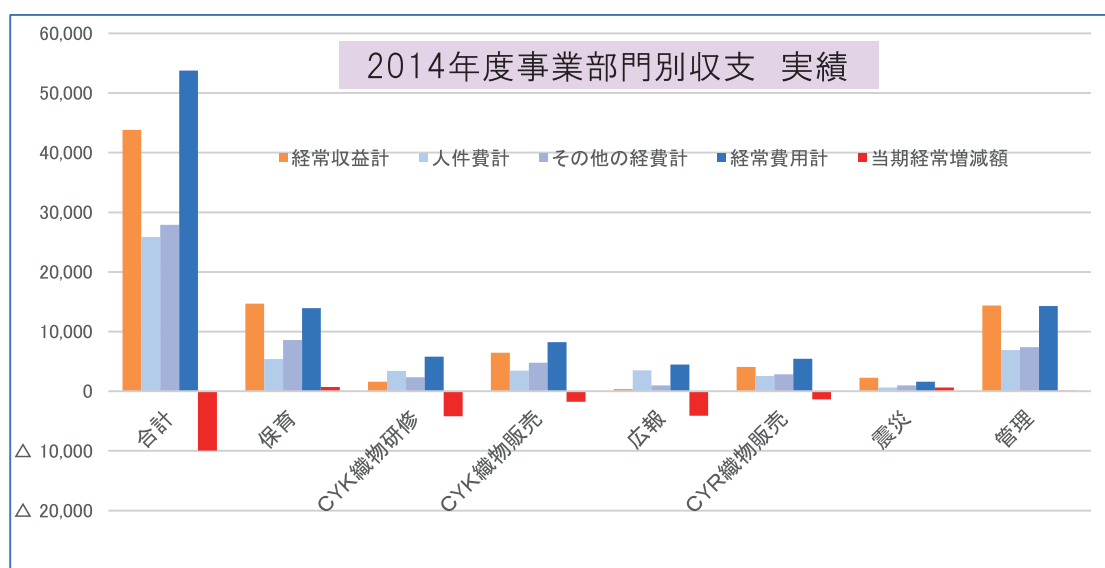
# 2014年度 数字とグラフで見る 幼い難民を考える会

## 2015年度事業部門別 活動予算書

(自2015年4月1日 至2016年3月31日)

(単位:千円)

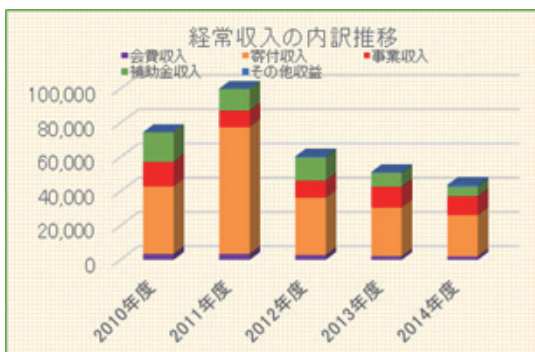
科目	合計	カンボジア事業			国内事業			管理
		保育	織物研修	織物販売	広報	織物販売	震災	
<b>I 経常収益</b>								
会費収入	2,000	0	0	0	0	0	0	2,000
寄付収入	20,800	10,100	0	0	0	0	1,300	9,400
事業収入	18,400	0	0	15,100	400	2,800	0	100
補助金収入	4,200	4,200	0	0	0	0	0	0
その他収入	600	300	200	0	0	0	0	100
経常収益計	46,000	14,600	200	15,100	400	2,800	1,300	11,600
<b>II 経常費用</b>								
人件費計	22,830	5,680	2,530	4,160	3,020	1,640	390	5,410
その他の経費計	22,860	6,500	2,330	7,170	830	1,010	140	4,880
経常費用計	45,690	12,180	4,860	11,330	3,850	2,650	530	10,290
当期経常増減額	310	2,420	△ 4,660	3,770	△ 3,450	150	770	1,310
当期正味財産増減額	310	2,420	△ 4,660	3,770	△ 3,450	150	770	1,310
前期繰越正味財産額	36,065	0	0	0	0	0	0	36,065
次期繰越正味財産額	36,375	2,420	△ 4,660	3,770	△ 3,450	150	770	37,375



## 活動収支年度別推移表

(単位:千円)

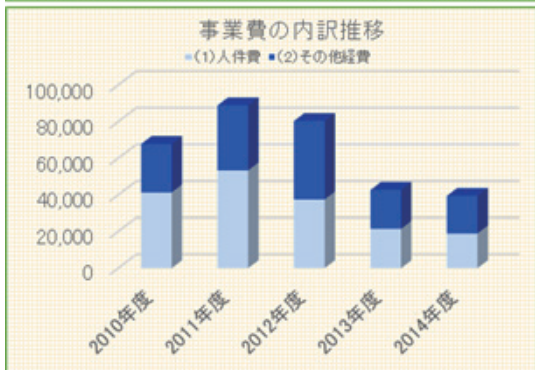
科 目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
<b>I 経常収益</b>					
1 会費収入	3,420	3,476	2,803	2,171	1,949
2 寄付収入	39,588	74,182	33,457	28,479	24,180
3 事業収入	14,264	9,549	9,959	12,079	10,919
4 補助金収入	17,150	27,757	13,520	8,103	5,589
5 その他収益	172	217	655	517	1,196
経常収益計	74,594	115,181	60,394	51,349	43,833
<b>II 経常費用</b>					
1 事業費					
(1)人件費	41,383	53,385	37,504	21,452	18,961
(2)その他経費	26,365	35,498	42,846	21,213	20,518
事業費計	67,748	88,883	80,350	42,665	39,479
2 管理費					
(1)人件費			12,459	7,985	6,896
(2)その他経費	8,146	6,779	6,811	6,008	7,401
管理費計	8,146	6,779	19,270	13,993	14,297
経常費用計	75,894	95,662	99,620	56,658	53,776
当期経常増減額	△ 1,300	19,519	△ 39,226	△ 5,309	△ 9,943
<b>III 経常外収益</b>			0	3,883	1,125
当期正味財産増減額	△ 1,300	19,519	△ 39,226	△ 1,426	△ 8,819
前期繰越正味財産額	67,317	66,017	85,536	46,310	44,884
次期繰越正味財産額	66,017	85,536	46,310	44,884	36,065



### 経常収入の内訳推移

経常収入は、2011年に東日本大震災が起き以前に比べて寄付金収入が激増した。2011年度の寄付収入は約74百万円と多額であったが、震災から時が経過するにつれて、寄付収入は2012年 約33百万円、2013年 約28百万円、2014年 約24百万円と減少している。

補助金収入も2011年度は激増したが、減少傾向にある。この結果経常収入全体でも、激増した2011年度の115百万円から2012年度 60百万円、2013年度 51百万円、2014年度44百万円と減少している。



### 事業費の内訳推移

2011年度の震災募金ほかによる収入増加に呼応して事業費は増加した。ただし、2011年度は震災で激増した収入を当該年度ですべて事業活動に投入できず2011年度は約20百万円正味財産が増加した。

2012年度は、収入の減少にもかかわらず前年度の事業拡大による人員体制をほぼそのまま継続し、事業費人件費率が2012年度 62.1%に上昇した。(この期から管理費にも人件費を振分けている。) このため、2012年度人員体制の見直しを行ったほか、2013年度中に退職者もあり2013年度の事業費人件費率は、41.8%に低下した。2014年度は事業費人件費は減少したが収入の減少が大きく事業費人件費率は43.3%と若干上昇した。



### 管理費の内訳推移

2012年度から人件費の一部を管理費として計上している。2012年度の事業費と管理費を合わせた人件費は、2011年度の53百万円とほぼ変わらない50百万円弱である。2014年度の管理費は東京事務所の引越費用の負担があり微増した。

経常収入が2011年度の115百万円から2012年度 約60百万円へ約55百万円減少し、人件費支出を賄いきれず、2012年度は、約39百万円の正味財産の減少となっている。2013年度は、期中で退職者が3名いたこと及び新規採用者の給与ベースの引下げにより、人件費は前年度比大幅減となった。2014年度は寄附金等の経常収入の減少が大きく大幅赤字となった。

# 幼い子どもと女性の自立のために当会を支えている人々と団体

## 2014年度 補助金受入先

公益財団法人日本国際協力財団 助成金	1,155,400 円
独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構 (国際ボランティア貯金寄附金配分事業)	2,134,162 円
日本労働組合総連合会 「連合・愛のカンパ」中央助成金	1,600,000 円
自治労福岡県本部	700,000 円

(2014/4/1～2015/3/31入金分を記載しています。)

## 2014年度 寄付者 (10万円以上寄付の団体) (50音順)

ILBS 国際福祉協会  
味の素株式会社  
あすてボランティア  
公益財団法人あすて  
株式会社一五不動産情報サービス  
特定非営利活動法人WE21 ジャパン厚木  
特定非営利活動法人WE21 ジャパン港南  
特定非営利活動法人WE21 ジャパンざま  
特定非営利活動法人WE21 ジャパン寒川  
特定非営利活動法人WE21 ジャパンたま  
特定非営利活動法人WE21 ジャパンみどり  
特定非営利活動法人WE21 ジャパン大和  
枝光学園幼稚園  
えん21  
幼い難民を考える会 あいち  
花王株式会社  
花王ハートポケット倶楽部  
カンテック株式会社  
株式会社クリアストーン  
グループ 夢処  
ゴールドマン・サックス証券株式会社  
自治労福岡県本部  
聖心女子学院同窓会有志“グループ五つの星”  
聖心女子大学同窓会宮代会  
全国友の会  
東京海上日動あんしん生命保険株式会社  
日蓮宗宗務院  
公益社団法人日本フィランソロピー協会  
百観音明治寺  
丸紅株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社MS & ADゆにぞんスマイルクラブ  
三菱商事株式会社  
モンゴルウランバートル市教職員有志  
株式会社ロイヤリティマーケティング

(2014/4/1～2015/3/31入金分を記載しています。)

## 2014年度 みんなで布チョッキン（団体のみ）（50音順）

実施団体名	実施場所
伊藤忠テクノロジーソリューションズ株式会社	東京
特定非営利活動法人WE21 ジャパン厚木	神奈川
特定非営利活動法人WE21 ジャパン港南	神奈川
特定非営利活動法人WE21 ジャパン大和	神奈川
特定非営利活動法人WE21 ジャパンざま	神奈川
特定非営利活動法人WE21 ジャパンほどがや	神奈川
オートデスク株式会社	東京
幼い難民を考える会 あいち	愛知
ギャップジャパン株式会社	東京
教覚寺	静岡
ゴールドマン・サックス証券株式会社	東京
サントリーホールディングス株式会社	東京
自治労神奈川県本部	神奈川
株式会社東京海上日動キャリアサービス 東北支社	宮城
東南アジア保育支援の会	東京
日本オラクル株式会社 ボランティア	東京
丸紅株式会社	東京
三井住友海上火災保険株式会社MS & ADゆにぞんスマイルクラブ	東京
株式会社三井住友銀行	東京
三菱商事株式会社	東京
リオテントジャパン株式会社	東京
レンドリース・ジャパン株式会社 東海事務所	愛知
(2014/4/1 ~2015/3/31 入金分を記載しています。)	
<b>実施協力団体名</b>	
公益社団法人日本フィランソロピー協会	
東京ボランティア・市民活動センター	

## 2014年度 織物製品主要販売先（団体のみ）（50音順）

団体名ほか	所在	販売形態
株式会社アートダイジェスト	東京	委託
アトリエボム・デュ・バン	東京	委託
特定非営利活動法人WE21 ジャパン厚木	神奈川	委託
特定非営利活動法人WE21 ジャパン都筑	神奈川	委託
特定非営利活動法人WE21 ジャパンなか	神奈川	委託
幼い難民を考える会 あいち	愛知	委託
株式会社嘉門工藝	東京	委託
ギャラリー-TAO 道	広島	買取
銀座煉瓦画廊	東京	出張
この道や	広島	買取
ジュル クメール	シエムリアップ	委託
ソカ アンコール リゾート ホテル	シエムリアップ	委託
ソカ ホテル	プノンペン	委託
ソナゾナクラブ	奈良	委託
千代田区政策経営部国際平和・男女平等人権課	東京	出張
東京ボランティア・市民活動センター	東京	出張・委託
東慶寺ギャラリー&ショップ	神奈川	買取
トレジャー アイランド ホテル	プノンペン	委託
なんとかしなきゃプロジェクト事務局	東京	出張
ニヨニム	プノンペン	委託
ハーモニー ギャラリー&雑貨フェアトレード店	山梨	委託
「ピダン・クメール」店	プノンペン	店舗
ヒマラヤン シバトレディングハウス	埼玉	買取
百観音明治寺	東京	出張
葡萄の木	東京	委託
プロジェクト・ユイ	東京	出張
株式会社細尾	京都	卸
三菱商事株式会社	東京	出張
ミラクル プティック	シエムリアップ	委託
UBS証券株式会社	東京	出張
横浜雙葉高等学校	神奈川	委託
(2014/4/1 ~2015/3/31 入金分を記載しています。)		

# わたしたちの組織

## 会員数

内訳	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末
個人	401	400	370	339	342	339	340
団体	6	7	6	6	6	9	8
学生	14	12	15	15	10	3	3
計	421	419	391	360	358	351	351

賛助会員	113	52	47	45			
------	-----	----	----	----	--	--	--

(注) 2012年6月より賛助会員の制度は廃止しました。

## 寄付者数

	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末
計	922	622	541	2,018	1,389	537	479
					個人	428	370
					団体	109	109

## 役員

2015年3月末現在

代表理事 廣戸 直江  
 副代表理事 山極 小枝子  
 理事 太田 真一  
 理事 米倉 雪子  
 理事 チャン・スレイ  
 監事 鈴木 雅博  
 監事 草野 榮雅

(注1) 深水正勝氏、交野政博氏、高木正彦氏、田中周子氏、深津高子氏、松岡玲子氏及び山田暢子氏は、2014年5月31日付けで理事を任期満了により退任しました。

(注2) 大川晴一郎氏は、2014年4月15日付けで監事を辞任しました。

## 職員

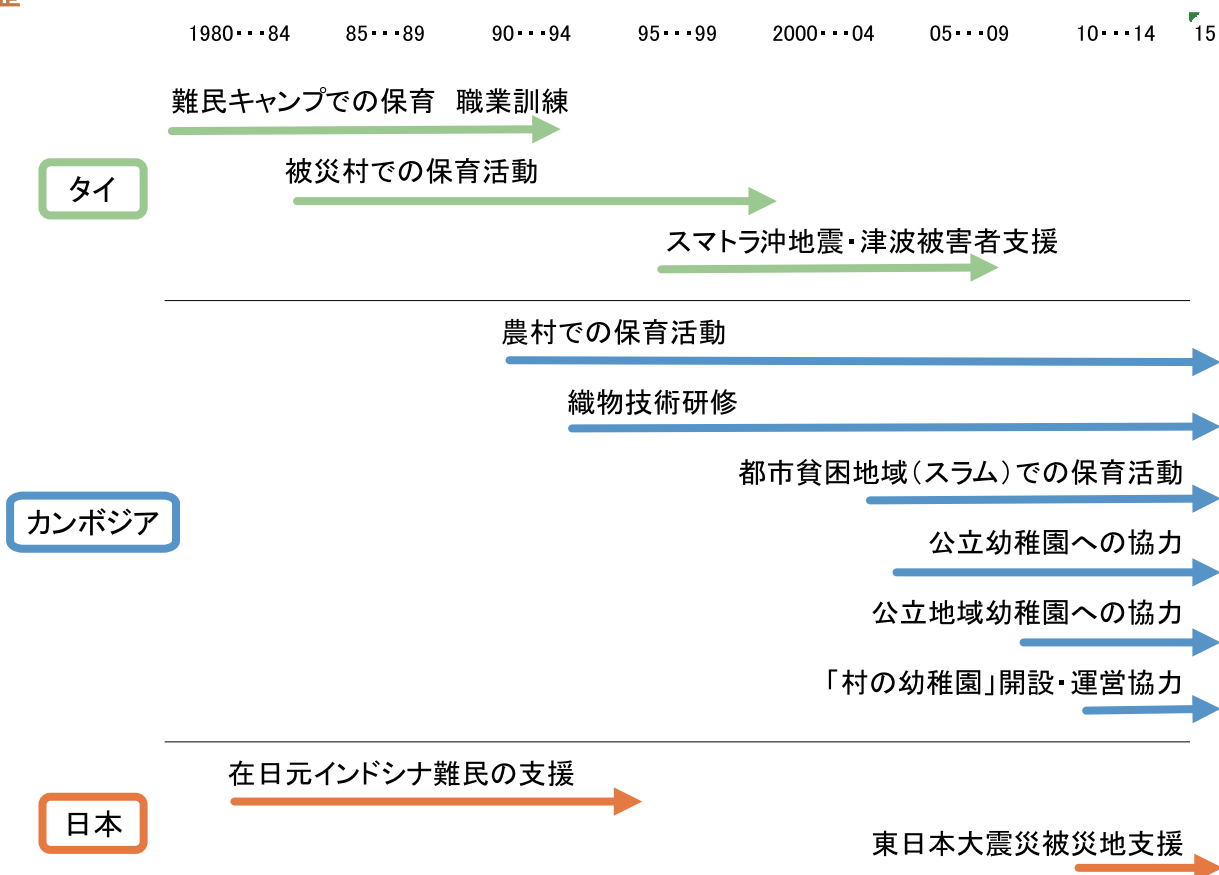
2015年3月31日現在

東京事務局：5名(事務局長 原 稔)  
 カンボジア事務所：11名(所長 関口 晴美)

2015年4月1日現在

東京事務局：5名(事務局長 原 稔)  
 カンボジア事務所：11名(所長 チャン・スレイ)

## 活動履歴



# 幼い難民を考える会の理念

幼い難民を考える会、その原点「カオイダン難民キャンプ」から35年。掲げる「理念」は、私達の活動の根幹として変わることなく受け継がれている。

## Children, Our Future

今日の子どもの幸せが、明日の平和な世界へつながります。

1980年、内戦により難民となったカンボジアの子どもたちが、タイ国境の難民キャンプの恵まれない環境のなかで少しでも人間らしい環境と必要な配慮のもとで暮らせるようにとの願いから、幼い難民を考える会(CYR)の活動は始まりました。

難民キャンプ閉鎖後は、復興を目指すカンボジアの農村で、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりと女性の自立を支援する活動に取り組んでいます。

会の名前を「難民の子ども」ではなく「幼い難民」としたのは、子どもという独立した人格を尊重する立場から子どもたちの成長が守られて初めて、祖国を逃れてきた人たちの、あるいは、その国の自立の問題に結びつくと考えたからです。

また、「考える会」としたのは、助けるという意識がしばしば相手の自立を侵したり、相手を管理する体制に陥りがちであることを認識し、難民問題をいろいろな側面から考えていきたいという会の基本姿勢に根ざしています。

私達はこれからも、様々な理由により厳しい環境におかれている子ども達の健全な成長を支援し、その保護者達が人間らしい生活環境のもと自立できることをめざしてひとつひとつの小さな積み重ねを大切にしていきます。そのことが、難民を生み出さない、明日の大きな平和を創る力となることを、信じています。



©高橋智史



©高橋智史

■ 東京事務局  
〒110-0016  
東京都台東区台東1-12-11  
青木ビル2A  
TEL:03-6803-2015  
Email:info@cyr.or.jp  
URL:http://www.cyr.or.jp

■ プノンペン事務所  
#170,St.63 Preah Trasak Paem,  
Sangkat Boeng Keng Kang I,  
Khan Chamkarmon Phnom Penh,Cambodia  
TEL:+855-23-210849  
Email:info@cyk.org.kh  
URL:www.cyk.org.kh



幼い難民を考える会(CYR)は、難民となったカンボジアの子どもたちがげんめいに生きようとする姿に触発され、1980年に設立されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興を目指すカンボジアで活動を続けています。その経験を、東日本大震災の被災地支援活動でも活かしています。

2014年度年次報告書2015  
発行日:2015年7月  
発行者:廣戸直江